

「人権侵犯」認定の杉田氏 部会長代理で調整

自民党は、杉田水脈衆院議員を党環境部会長代理に起用する方向で調整に入った。29日の党総務会で正式に決める。複数の党関係者が明らかにした。

杉田氏は今月、アイヌ民族らへの差別投稿で、札幌法務局から「人権侵犯」を認定されたばかり。与党からも謝罪や説明を求める声が相次ぐが、認定後は公の場で語っていない。

自民の部会は、政策分野ごとに設けられ、政府提出法案の審査や政策立案に携わる。部会長代理は部会長に次ぐナンバ



ー2で、杉田氏は党の環境政策に影響力を有することになる。

杉田氏は、同性カップルや性暴力の被害者を念頭に置いた差別的な言動を続け、世論から批判を浴びてきた。岸田内閣は昨夏、杉田氏を総務政務官に起用したが、内閣の任命責任が指摘され、年末に事実上更迭した経緯がある。

杉田氏は過去2度の衆院選で、政党名で投票する比例中國ブロックで優遇され、当選。茂木敏充幹事長は次期衆院選での杉田氏の公認を含めた党の対応について「候補者の資質などを踏まえて適切に判断していきたい」と一般論にとどめ、明言を避けている。（大久保貴裕）